

第47回 古地図企画展示

# 海と陸の「みち」

—江戸時代を旅する—

平成24年(2012)7月14日〔土〕～平成24年9月2日〔日〕

於 二階 特別展示室2

— 出品目録 —



No.5 大坂より松江まで航路図(部分)

慶長9年(1604)、江戸幕府によって、五街道の起点として江戸日本橋が定められました。それ以降、宿場や里程が設けられ、各地の街道が整備されることとなります。また、沿岸航海を中心とする航路の開発も、各地で順次進められます。これら陸と海の「みち」は、大名や武士が利用するほか、商業や交通・通信に関わった人びと、さらには一般庶民の旅に使われることとなります。

あれば便利なのが、今も昔もかわらず、それぞれの「みち」筋における各種の情報です。その一つが、陸の「みち」や海の「みち」を案内し、一望することができる地図であったことは、間違いないでしょう。これらの地図は、一枚刷りの簡単なものから、縮尺などが度外視され、日本列島を収録するために、全長10メートルを超えるものまでが作成され、販売されていました。ただ、長くて大きな地図はコンパクトに折り畳みできることで、懐や袖の中に入るような工夫がなされています。

今回の展覧会では、この「みち」に焦点をあてて、江戸時代に作成された道中図や航路図などを中心に街道筋の情報や、名所の姿を概観します。

## 《出品目録》

### I. 日本図に描かれた「みち」

No.	資料名	作者など	時代	版種	寸法(cm)	備考
1.	大日本国大絵図	石川流宣	正徳2年(1712)	木版筆彩	88.9×170.4	南波
2.	改正日本輿地路程全図	長久保赤水	安永8年(1779)	木版筆彩	83.2×134.3	秋岡
3.	大日本海岸全図	整軒玄魚	嘉永6年(1853)	木版刷彩	50.7×71.4	
					(「蝦夷国」22.8×23.9の付け足り)	秋岡

### II. 海の「みち」

No.	資料名	作者など	時代	版種	寸法(cm)	備考
4.	船路絵図屏風		江戸時代中期	手書筆彩	72.8×264.0	
5.	大坂より松江まで航路図		江戸時代中期	手書筆彩	35.0×1791.0	
6.	自東都西国筋 旅中懐宝	結城甘泉	嘉永5年(1852)	木版刷彩	14.6×7.9	
					(全長731.0)	南波
7.	西国内海名所一覧	五雲亭貞秀	慶応元年(1865)	木版刷彩	35.2×141.6	
8.	勢海一覧	天香堂・擔柴小夫	文久3年(1863)	木版	53.5×77.4	秋岡
9.	八箇州船路之図	一貫堂	文久3年(1863)	木版刷彩	43.1×68.4	秋岡
10.	皇国舟程全図	疋田棟隆	慶応4年(1868)	手書筆彩	37.3×28.3	

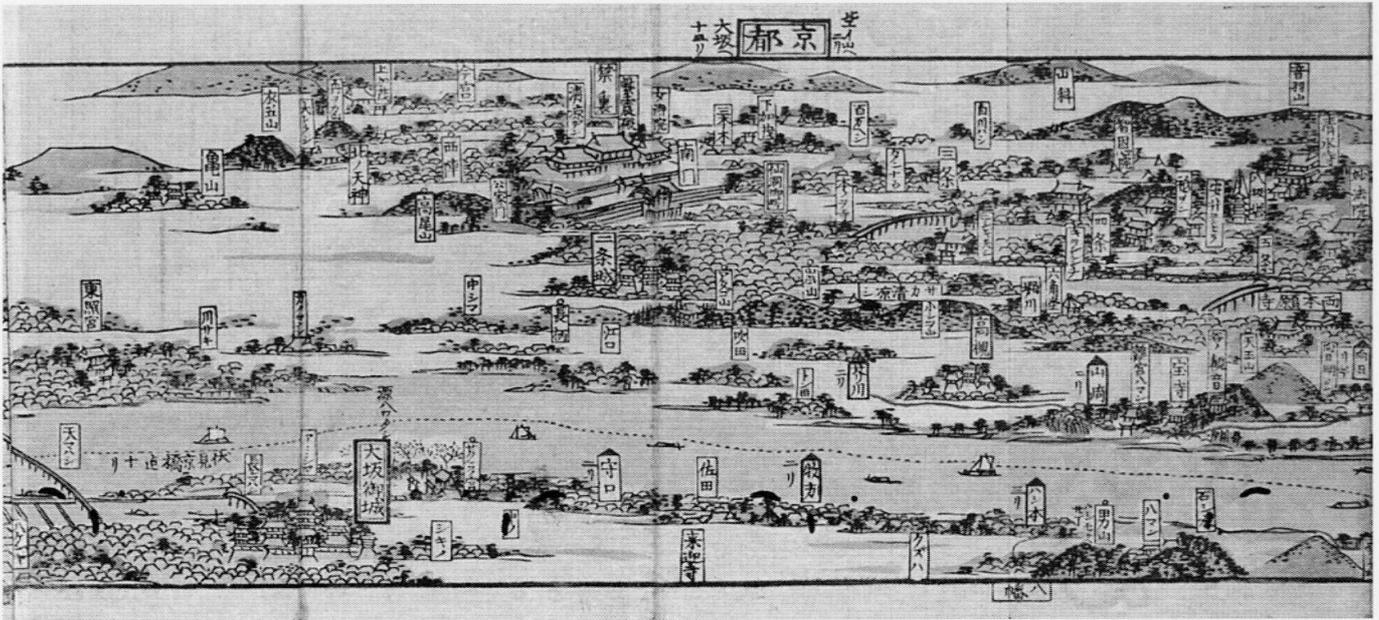
(1) 元 58面 (2) 亨 52面 (3) 利 50面 (4) 貞 52面

Ⅲ. 「みち」を描く

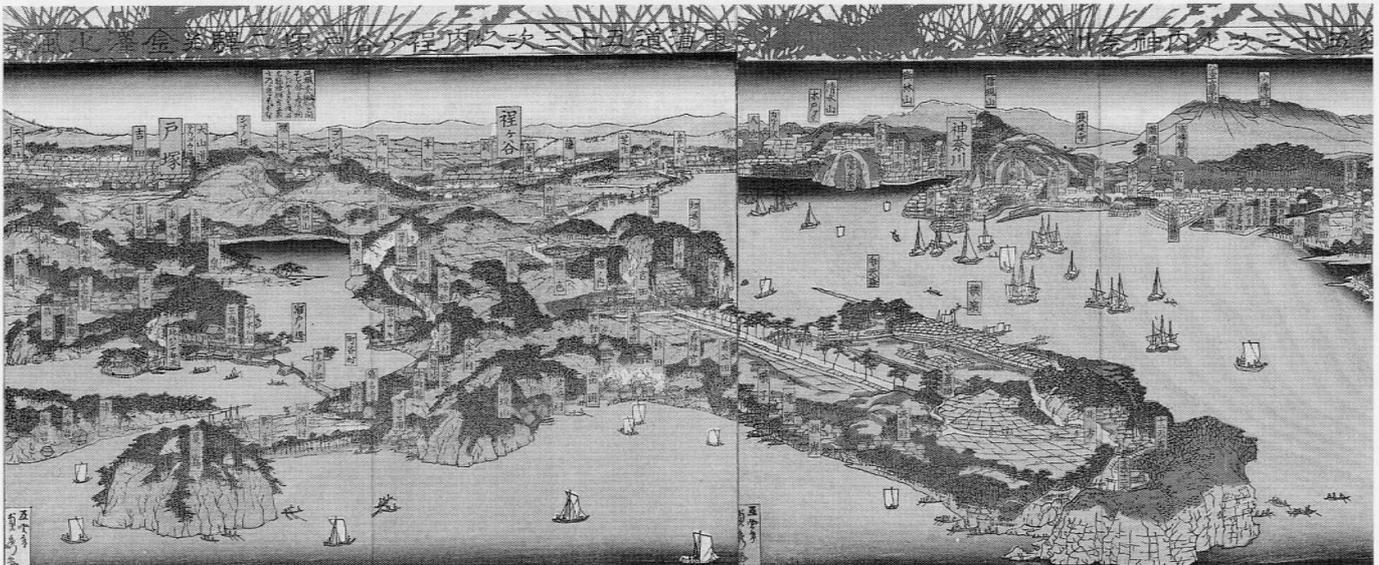
No.	資料名	作者など	時代	版種	寸法(cm)	備考
11.	東海道路行之図		寛文頃(1661~1673)	木版	131.3×57.9	
12.	東海道・西海陸細見図		江戸時代前期	木版	34.5×15.3	南波
	(1) 東海道細見図 元 全長 523.6	(2) 東海道細見図 亨 全長 554.4				
	(3) 西海陸細見図 利 全長 369.6	(4) 西海陸細見図 貞 全長 369.6				
13.	東海道分間絵図	遠近道印	元禄16年(1703)	木版	26.5×14.9	南波
	(1) 東海道分間之図 (巻之一) 全長 675.6	(2) 小田原方府中迄 (巻之二) 全長 659.3				
	(3) 府中方吉田迄 (巻之三) 全長 877.9	(4) 吉田方亀山迄 (巻之四) 全長 787.5				
	(5) 亀山方京迄 (巻之五) 全長 688.8					
14.	江戸より長崎まで道中図		江戸時代中期	手書筆彩		
	(1) 上巻(江戸~京都) 46.5×1000.0	(2) 下巻(大坂~長崎) 465.0×700.0				
15.	海陸日本道中行程記	菊岡南仙斎	享保7年(1722)	木版	15.8×7.2	(全長388.0) 南波
16.	大日本道中細見絵図	平野屋茂兵衛	嘉永2年(1849)	木版刷彩	35.8×152.0	南波
17.	大日本早見道中記	友嶋松旭	安政2年(1855)	木版刷彩	35.8×180.0	南波
18.	大日本東北行程全図	富永晋斎	慶応4年(1868)	木版刷彩	101.3×117.8	南波
19.	大日本国 増補海陸行程細見記 完	醉雅子	天保7年(1836)	木版刷彩	15.6×10.6	南波
20.	東海木曾 両道中懐宝図鑑	須原屋茂兵衛	江戸時代後期	木版	15.5×10.8	南波
21.	金沢ヨリ江戸道中図	三ヶ屋五郎兵衛	宝永5年(1708)	木版筆彩	17.0×7.0	(全長176.4) 南波
22.	從江戸至金沢 道中記	安田甚五左衛門	江戸時代中期	写本	15.6×22.2	南波
23.	從江戸盛岡迄道中記		江戸時代後期	写本	9.2×20.6	南波
24.	淀川兩岸一覽	暁春翁・松川半山	文久元年(1861)	木版一部色刷	17.9×12.6	池長
25.	京都大坂往来鑑	青松軒・吉田宣美	文化7年(1810)	木版	34.3×93.8	南波
26.	東海道五十三駅勝景 初編	五雲亭貞秀	万延元年(1860)	木版刷彩	24.2×15.0	池長
27.	從摂州尼ヶ崎至長州萩府道中細見記	玉林道	慶応元年(1865)	木版	37.8×94.3	南波
28.	芸芻宮島・岩国錦帯橋(西国名所之内)	五雲亭貞秀	慶応元年(1865)	木版刷彩	35.5×24.2	池長

Ⅳ. 巡礼の「みち」

No.	資料名	作者など	時代	版種	寸法(cm)	備考
29.	西国卅三所方角絵図 全	野田知義	享保19年(1734)	木版筆彩	80.0×79.5	南波
30.	四国偏禮絵図 全	弘範	宝暦13年(1763)	木版	58.3×93.0	南波
31.	大和巡りひとり案内図	菊屋喜兵衛	寛政8年(1796)	木版両面刷	29.5×59.9	南波
32.	いせ大和満いり名所絵図道のり	糸つ屋庄八	嘉永2年(1849)	木版	44.3×54.0	南波
33.	讃州金毘羅参詣海路全図	十返舎一九	江戸時代後期	木版刷彩	41.4×57.6	南波
34.	象頭山参詣道紀州加田ヨリ讃岐廻り并播磨名勝附	美玉堂	江戸時代後期	木版刷彩	34.6×47.0	南波



No.6 自東都西国筋 旅中懷宝(部分)



No.26 東海道五十三駅勝景 初編(部分)

\*備考欄の、池長は池長孟、南波は南波松太郎、秋岡は秋岡武次郎のコレクションを指す。

◆次回展のお知らせ

## 特別展「マウリッツハイス美術館展」

平成24年9月29日[土]～平成25年1月6日[日]

**神戸市立博物館**

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 TEL 078-391-0035

<http://www.city.kobe.lg.jp/culture/museum/>

神戸市広報印刷物登録/平成24年度130号(広報印刷物企画B-1類)

リサイクル適性<sup>®</sup>

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。